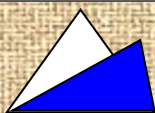


会報

日本勤労者山岳連盟(富山県連盟)
新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

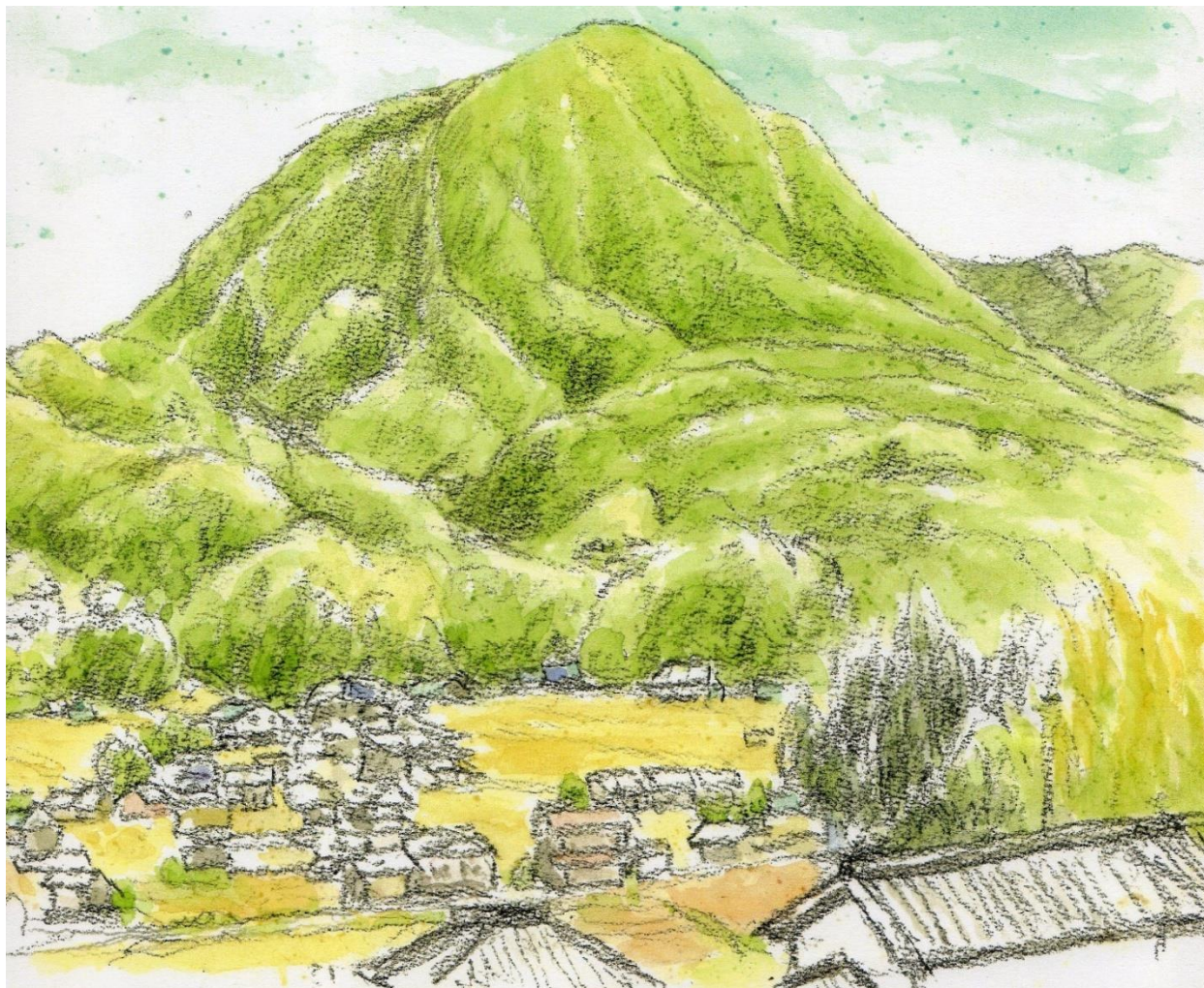
No. 300

2025年9月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



独鈷山(どっこさん)長野県青木村 小木 清 画

9月と10月の企画案内

9/5(金)～7(日) 尾瀬ヶ原・燧ヶ岳・至仏山

9/20(土) 霧 訪 山

9/27(土)・28(日) 北信越労山交流登山 能郷白山

10/3(金) 立山/弥陀ヶ原～天狗平

10/17(金) 焼 岳

11/1(土) 高 坪 山

山 行 報 告

8/11 (山の日) 乗 鞍 岳

8/20 上高地～岳沢小屋

9月・10月企画案内

9/7(金)・8(土)・9(日) 尾瀬ヶ原・燧ヶ岳
/至仏山企画は6名の参加で実施します。

9/20(土) 霧 訪 山

きりとうやま
1306m
長野県塩尻市

小さくとも引き締まった人気の山。頂上からの展望良し

【出発】6時00分 薬勝寺池P

【行程】R-158 平湯・安房峠・風穴の里経由

⇒ 松本IC ⇒ 塩尻IC ⇒ 小野コース登山口

(9:30) ⇒ かつとり城跡 ⇒ 頂上

11:15~12:00 ⇒ 登山口 13:15

L: 的場邦夫 標高差 433m

歩行時間 登り2時間 下り1時間30分

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

【参加申込】9月10日までの場邦夫へ

SMS 090-4320-5325



上・山頂の鐘

左・山頂標識



9/27(土)・28(日)

日本勤労者山岳連盟 北信越ブロック交流登山

毎年各県連が順次担当して開催して、労山の仲間が集い交流する企画です。新型コロナ感染で一時中断していましたが、今年は福井県連の主催で行われます。クラブでは岩井富雄、荒井英治、塚良昭、山本則夫の4名が参加し、能郷白山に登山するを予定しています。

紅葉を愛でる山旅企画 その1

10/3(金)

立山・弥陀ヶ原～天狗平

【出発】5時00分(登山ケーブルの混雑を考慮し、早めの出発)

【行程】立山駅からケーブル、バスを乗り継ぎ、弥陀ヶ原 1850m

⇒一の谷、⇒獅子ヶ鼻岩、⇒ガキの田 ⇒天狗平 2300mへ ⇒

バス美女平 ⇒ ケーブル立山駅

歩行時間 約3時間30分 体力度、技術度とも★☆☆☆☆

【参加申込】9月23日まで岩井富雄 SMS 090-8968-3484 へ

【費用】約5,000円(交通費、ケーブル、登山バス)



ガキの田

紅葉を愛でる山旅企画 その2

10/17(金) 焼岳

やけど
2455.4m
高山市

【出発】5時00分

【行程】中の湯登山口→広場→
南峰/北峰の鞍部→焼岳北峰
(往復)

標高差 867m 登り 4時間 下り 3時間
体力度・技術度とも★★☆☆☆

【装備】ヘルメット努力義務

【参加申込】10月7日まで

的場邦夫 SMS 090-4320-5325へ

当初の計画日は10月19日(日)でした。この時期、紅葉の為、駐車スペースの混雑が予想されると判断し、平日に変更しました。

長野県と岐阜県の県境にそびえる活火山で、日本百名山のひとつです。焼岳登山の定番ルートは新中の湯ルートで、荒々しい火山地形が生み出す独特の景観を間近に楽しめます。森林限界を越えると迫力ある溶岩壁や噴気孔が迫り、北峰からは上高地や穂高連峰の壮大なパノラマが広がります。北アルプス入門にも最適な、火山の息吹と雄大な景色を一緒に味わえる名山です。



樹林帯を抜けると・・・

紅葉を愛でる山旅企画 その3

11/1(土)

高坪山

たかつぼやま
1014m
南砺市(旧平村)

「おむすびやま」として親しまれ
ブナ林の新緑と秋の紅葉など、自然
景観に触れられる

登り 2時間 下り 1時間 30分 標高差 630m 体力度・技術度とも★☆☆☆☆

※ 詳細な案内は次号会報No.301に記載します。

11/8(土)～9(日)

恒例 富士を愛でる山旅

小富士&富士展望の山

小富士(こふじ・標高 1,979m) 静岡県駿東郡小山町
小富士は、砂礫の降り積もった賽の河原のような雰囲気のある丘だ。この一帯だけ樹林帯から外れており、周囲への展望がよい。御殿場や吉田の市街地、河口湖や山中湖といった湖畔の様子、箱根や秩父、愛鷹山方面への眺めを楽しめるため、多くの登山者やファミリーが訪れている。

※ 企画内容は次号会報に記載します。

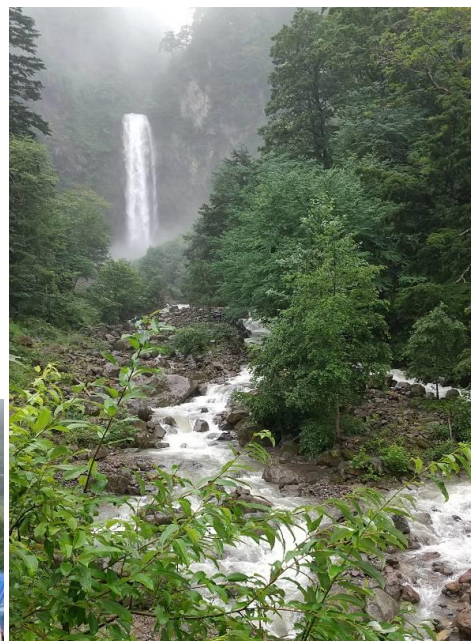


小富士から富士山頂を仰ぐ

メンバー L 的場邦夫、S L 堀井泰則、S L 加藤日出子、山本則夫、石黒洋子
棚田清志、今村和子、浦 幸江、甲かほる、有澤真知子

【行程記録】

5:40 薬勝寺 P 出発
8:30~9:40 朴木バスターミナル着
乗鞍スカイラインは雨量規制により通行見合わせ中のため
スキー場と天空のひまわり園散策
9:50~10:10 平湯大滝着、見学
10:25~12:05 ひらゆの森着、温泉巡り、昼食
15:00 薬勝寺 P 到着



上：平湯大滝

左：朴の木平スキー場ひまわり畑



ひとくち感想

石 黒：少しずつ晴れてきていたのと、乗鞍の“てんきとくらす”がCからBになってきていたので、何とか行けることを願っていました。朴の木平バスターミナルに着くと、小雨程度で空は明るかったのですが、雨量規制によりバスは通行見合わせでした。しかし、山は行けなくても豪快な「平湯大滝」を間近で眺め、「ひらゆの森」でいくつもの露天風呂に順に浸かり、リフレッシュすることができました。リーダー、ご一緒した皆さん、ありがとうございます。

今 村：朝から土砂降りの雨。豊平行きのバスが運休で、登山を断念。ほおのき平🌻ひまわり畑🌻を散策。背丈の低いひまわりが10万本も。雨の中でも、太陽のようなひまわり。とてもかわいい。そのあと飛騨の大滝を見学。昨日からの雨ですごい水量で迫力満点。その後は、温泉♨️にゆっくり入って、のんびり楽しく過ごしました。

的 場：募集締め切り前で14名の申し込みが有りレンタカー2台を手配したが山行前に色々な事情により10名の人数になる。山行日の前は雨模様で天候が悪くそれでもレンタカーはキャンセル料が発生するので乗鞍のバスターミナル（朴木平）迄行って天候を見てバスに乗車するか決めましよう、皆さんの了解得て出発しターミナルに着いたが車は我々の車と2~3台の車、これは～と思い車を降りたらバスの運転手さんが来て昨日の昼から雨量規制で運行見合わせとのこと今日もおそらくダメでしょうと、がっかりしました。こうなれば観光と風呂に切り替え楽しむことにしました。皆さん中止に出来なくてごめんなさい。

加 藤：当日の乗鞍岳の天気予報は雨なので、レンタカー三日前キャンセル料発生するので、決行するか？中止にするか？判断が迫られた。兎に角雨でも朴の木平迄行くと決行した。朴の木平バスターミナルに着いたが、昨日の大雨でターミナル浸水して、バスは運行してなかったので標高 1200m のひまわり園で、10 万本のパチノゴールドを観賞、ひまわりが見事でした!!そこから、平湯大滝へと向かった。大滝は雨で増水し迫力満点で半端無く豪快だった。日頃経験できない貴重な観光山旅で良かったが～乗鞍岳（剣ヶ峰）登山はリベンジしたいと思います(^_^)v

有 澤：雨続きの予報に乗鞍行きはなしだろうと思っていたら決行の連絡。気合を入れ直して参加。ところが朴木平に着くとバスが運休中。急遽、ひまわり畑の散策、平湯大滝へ行くこととなった。久しぶりに見る大滝や続く川はこの雨続きで半端ない水量。迫力満点で自然のすごさを感じられ、ラッキー！平湯の森では幾つものお湯をこれが年相応と満喫。楽しみにしていた夏山の花は見られなかったが、ゆったり、ワイワイも楽しかったです。

甲：いつも晴れの「山の日」なので参加したいと思ったのですが、今回は残念ながらの天気でした。でも、朴の木スキー場の天空ひまわり園や平湯大滝、ひらゆの森温泉に行ってきました。露天風呂は合計16あり、女性風呂には9つありました。白く濁ったふろ、透明なふろ、熱い風呂、水のようなふろ等、タププリ浸かってきました。今回は一人一役でみんな頑張りました。楽しかったです。ありがとうございました。

棚 田：近いようで遠かった乗鞍岳。県内の呉西の山に登ると御嶽山と並んで大きな山容見せてくれる乗鞍岳。今回、山の日初めて登れると期待していたが、生憎の雨模様です。わずかな望みを持って朴の木平のバスターミナルまで行くが雨量規制でスカイラインのバスは運休しているとの事でした。来る道中で下流の神通川第二ダムが茶色く濁った水を爆発的に放流していた景色を思い出した。それで登山は中止となり、ひまわり畑の見学や落差64メートルのこれも増水して滅多に見れないだろう豪快な平湯大滝を見て、平湯温泉でたっぷり汗をかいて帰路につく。時にはこんな山行もありかな。また、乗鞍岳に挑戦したいものである。



堀 井：県内は前日からの豪雨で被害も出ている。「中止」の声が出ても不思議はないのだが、リーダーの判団で“雨降り、強風なら温泉につかって雨の山で過ごしてみよう”と決行したことは自分にとって楽しい時間を作ってくれた。スキー場ゲレンデにつくられたひまわり畑を散策。雨で水量が増え、一層ダイナミックな瀑布となって落ちる平湯大滝見学。そして👉。こんな山との触れ合いも一興。

山 本：乗鞍岳は、過去スキーや観光で何回か行き、また登山として2回いきましたが、何れも悪天候で畳平P周辺しかいきませんでした。今回こそはと期待してましたが、10日より雨との天気予報で当日集合場所でも雨残念!!!!。今回は、観光に変更となり平湯大滝と平湯の森にて温泉に入り久しぶりに身も心もくつろぐことができました。

浦：山の日登山を楽しみにしていた。雨の心配があったけど、なんとなく大丈夫な気がした。バス乗り場にあった「運休」の文字に全員ががっかりした。向かいの向日葵園の小道を歩き、少しでも「坂」「傾斜」を歩こうとみんな歩き出した。残念に思う気持ちでいっぱいだった。平湯大滝の水量に自然の力の凄さに圧倒された。風呂は気持ちよかった。いつもと違う登山だったが、思い出に残る日になった。計画してくれたリーダーさん、運転してくれた方ありがとうございました。

山行報告

自主企画

8/20(水)

上高地～岳沢

1520m

2170m

トレッキング

メンバー：〈L〉堀井泰則、〈SL〉松田光恵、棚田清志、松田理恵子、H・M(会員外)

【行程記録】

薬勝寺池 P 出発	5 : 0 0
アカンダナ駐車場 着	6 : 5 0
上高地バスターミナル 出発	7 : 4 0
岳沢登山口 着	8 : 1 2
西穂高展望所(地点4)	1 0 : 4 0
岳沢小屋 着(昼食・休憩)	1 2 : 1 5
岳沢小屋 発	1 2 : 4 0
岳沢登山口 着	1 6 : 2 0
上高地バスターミナル 着	1 7 : 0 0



登山口前で運よく通りがかった外国の方に撮ってもらう

ひとくち感想

棚田： 初めて上高地という所に足を踏み入れる。水をたたえた大正池、たくさんの外国人観光客が行き交う河童橋。橋の上からは目指す岳沢が雪渓のように白っぽく見え、その上の穂高連峰は上部が雲に隠れて見えないが、雄大な景色が広がっている。時間をかけて登って岳沢小屋に着くと、リーダーの企画書通り、雲が無くなり、そびえる穂高の岩峰が目の前に、大迫力のパノラマとなって出迎えてくれました。小屋の眺めの良いテラスでゆっくり食事が出来ました。今回の山行はゆっくりしたペースで高山の雰囲気存分に味わえ、山の頂上は踏まなかったがとても満足感のある山行でした。

堀井： 夏山企画は8月11日(山の日)乗鞍岳から9月20日霧訪山まで”夏山の最盛期“に日帰り登山企画がないことに気が付き、急遽「自主企画」しました。

夏の上高地は久しぶり。相変わらず人気の河童橋から見上げる穂高連峰は奥穂高あたりが雲に隠れていたが吊尾根の姿を見せてくれた。岳沢登山口からゆっくりのペースで登ったのですが、やはりバテてしまいました。私は目的地「岳沢小屋」数十メートル直前でギブアップしましたが、皆は登り切ることができたのに安堵し、リーダーとしての役割は少し果たせたかなと嬉しかった。今の自分の力ではできないかもしれないという不安を抱えての決行だったからです。登・下山中、名の知れぬ穂高の岩峰群を見上げ、はるか下の上高地を見下ろし、また、岳沢小屋まで往復するという老夫婦や小屋前でテン泊し、前穂高に登るという大きなザックを背負った二人組。そして、穂高連峰を縦走して下る登山者などと出会い、穂高の一角にいること感じることができました。へろへろになって下山時間が大幅に遅れて河童橋で5時に



観光客で賑わう河童橋前で

なり、店舗が一斉にシャッターを下ろしてしまって、下山後の楽しみだったソフトクリームを食べそこなったことは痛恨の極みでした。過去数回穂高縦走したうち3回下山路として岳沢を下った昔の経験から“なんとかなるだろう”と安易に考えていた自分がいました。”昔は昔、今は今“という言葉が頭をよぎった山行でした。最後に、遅いペースに合わせてくれたパーティーにありがとう！

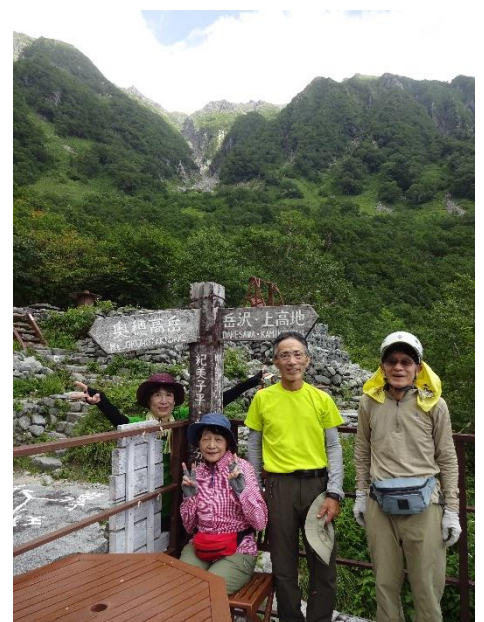
松田光： 久しぶりの山行で一抔の不安もあったが思い出深い山行となった。春の上高地以来数年ぶりで、大正池の様子や河童橋周辺の様子も以前とは違う様子が印象的だった。登山道は木立が整然として日差しを遮り暑がるしくなく、急登もあったがしっかり上ることができた。目的地の岳沢小屋に到着した時は360度の見晴らしが感動的だった。

松田理： 梓川の清流に癒されながらの出発。ゆったりと森の中を登る。今回の発見「ゴゼンタチバナは6枚葉になるまでに成長すると果実をつける。」雪溪かと思まがう程の白い岳沢に感動。時々見せてくれるハクサンフウロやアキノキリンソウ、ヤマハハコの姿に癒される。ゆっくり登ったので、下りで結構な急登であったことに気が付いた。久しぶりの山行で久しぶりにちょっと筋肉痛。



6枚葉のゴゼンタチバナ

H・M： いつまでも続く残暑にうんざりし、涼と穂高の絶景を求めて、行ったことのない上高地～岳沢トレッキングに同行させていただきました。整備された登山道は歩きやすく、時々吹く風は心地よく快適な山歩きを楽しめました。いろいろあって時間はかかりましたが、無事山小屋に到着しガスの切れ間から穂高の山々を堪能することができ良かったです。飛び入り参加でしたが、気のつく方ばかりで学ぶことも多かったです。ありがとうございました。



岳沢小屋にて

表紙の絵「独鈷山」

長野県青木村にある標高1266mの独立峰。

独鈷山（とっこさん）は、殿城山（でんじょうさん）、鉄城山（てつじょうさん）とも呼ばれ、長野県上田市に位置する標高1266メートルの山です。なだらかな山が多い東信地方にあって珍しい、荒々しい山容の山で、古くから信仰の山であったとされ、塩田平を潤す水源があることから、雨乞いの山でもありました。

「独鈷」というのは、真言宗などの密教系の宗派で使う仏具です。その仏具がこの山の名前の由来とか。三島野スポーツクラブは2013年11月に6名で登頂しました。

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏 名	住 所	TEL	携帯
代 表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、岩井富雄、的場邦夫、堀井泰則、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子、守田清子の 13 名で構成します。

〔監事〕今村和子、浦 幸江

〔相談役〕山田 格、林 憲彦

9 月の世話人会開催 **9 月 9 日 (火) と 9 月 23 (火) 午後 2 時から**。会場は「はなみずき」です。

尚、どなたでも自由にさかすることができます。お気軽に足を運んでください。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp

甲かほる kab@p2.tcnet.ne.jp

松田理恵子 krbara@p2.tcnet.ne.jp

会報『**三島野スポーツクラブ**』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右の Q R コードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記

- ・熊の出没、被害のニュースが連日のように流れる。北海道の羅臼岳で登山者がヒグマに襲われて死亡した事件は衝撃をあたえました。また、ツキノワグマが立山のみくりが池を泳ぐ姿がネットで流れ、薬師岳のキャンプ場でザックとテントを持っていったと・・・登山者はどんな対策を立てて山に向かえばいいのか。
- ・北アルプスをはじめ遭難事故が多く発生しています。「滑落」「転倒」「疲労」が多い原因。水分を十分に取りましょう。特に下りは必要な休憩を必ずとり、秋に向けて「安全登山」を続けましょう。
- ・猛暑がお盆が過ぎてもおさまることを知らない。かとおもえば、山の日のように猛烈な雨が局所に降ってくる。乗鞍岳は豪雨で通行止め。駐車場は川のようになっていたという。お陰といっはなんだが、弱くなった雨降りの中ゆったりとした時間を過ごすことができたという感想もあります。無目的に時を過ごすことも心の安らぎになるのかもしれない。
- ・9 月企画にクラブの初めての山が「尾瀬ヶ原・燧ヶ岳／至仏山」と「霧訪山」があります。尾瀬ヶ原は全国的にも有名。多くのハイカーがあこがれる高原です。霧訪山は全く知らない山でした。企画に乗って調べて知りました。比較的登りやすく人気な山だとか。10 月からは“紅葉を愛でる山旅”シリーズとして企画しています。近くの山好きの友人などに声をかけ、一緒にご参加ください。

